

探訪 チャレンジ企業 67

中医学漢方に専門特化して 顧客との信頼づくりに全力 ブヘサ 中村固腸堂：津幡町

専門品を扱う店は立地上の制約を受けにくいものの、顧客との親密な信頼関係を築くことが重要となります。

今回ご紹介するのは、中国伝統医学である中医学漢方に専門特化して着実な成長を目指す漢方相談専門店「ブヘサ中村固腸堂」です。

一 津幡の地で暖簾を守る

当店は、古くから加賀・能登・越中を結ぶ交通の要衝として発展してきた津幡町に店舗を構える。現在、現店主で五代目の中村寛二さんが経営全般を見て、奥さんの純子さんと長女で



店内の様子

後継者の六代目寿理さんの二人が顧客の応対・相談にあたっている。

当店の歴史は、明治初期に京都から当地に移り医師として開業した初代武平翁（ぶへさ）に遡る。武平翁は医師の傍ら、漢方と蘭方から数十種類の薬を開発し、その中でも下痢止め薬「ブヘサの固腸散（こちようさん）」は昭和にかけて広く知られた薬で、店名の由来にもなっている。第二次大戦中は中国や台湾、東南アジアなどの兵士向けに広く提供されていたといい、多くの注文書や兵士の遺稿（戦友回想録「クサイエ島への道」）にその名残を確認することができる。

二 居心地の良い店舗空間

現在の店舗は、周辺に警察署や学校などがある地域に立地し、先代が逝去した二十五年前に同じ町内から移転。六代目が加わった四

年前に大改装を行った。店舗の外観は、淡いベージュの外壁が特徴的な落ち着いたシンプレな造りである。

店内空間には、心地よいジャズが流れ、清潔感と重厚感が漂う。店奥の壁には当店の思想を表す「薬食同源」の木板が掲げられ、壁に据え付けられた商品棚には様々な漢方薬が整然と配置され、古い百味算笥が老舗の雰囲気を出している。



左から5代目、奥さん、6代目寿理さん

三 薬業界の将来性への不安

先代が逝去した当時、薬業界全体の将来性に危機感を抱いていた現店主は、一時期廃業も考えたというが、周囲から存続を求め強い声もあり、現在地移転を決意したという。

しかし、その後の業界を取り巻く環境は、ドラッグストアな

ど新業態の発達などもあって、思っていた以上に厳しい状況となると判断し、小さくても特定分野で専門性を高めていくことの重要性を認識し、西洋医学の限界を感じていたこともあり、中医学漢方の有効性について考えるようになったという。

四 漢方分野に特化

生薬認定薬剤師で、中国では漢方の医師として認められている国際中医専門員の資格を持つ六代目の寿理さんが加わってからは、新薬や化粧品、雑貨の取り扱いを止め、その資格を生かして、中医学に基づいた漢方分野に特化した。

女性や漢方ファン、比較的所得水準の高い層をターゲットに、薬に対する安全性や身体への優しさといったニーズに応え、漢方に対する確かな知識と経験、そして人柄などが相まって、口コミという形で次第に客層の裾野を広げていき、また、新聞やマスメディアを通じて漢方の普及に努めたことが効果的に働き、知名度を上げていった。

今では、県内全域から来店され、以前よりも若い女性の利用者が増えているという。

五 質の高い経営を目指して

今後は、「漢方のプロ」という意識を高めて、地域のお客様との信頼関係を深め、地に足の付い



2006年10月24日 北國新聞掲載

た経営を続けていきたい」、そして、「顧客とのコミュニケーションを密にし、規模よりも信頼性を高め地域に根を生やし効率のよい店を目指したい」と店主は話す。

当店の売上高よりも内容を重視し、顧客との関係を強固にして着実な成長を目指す経営姿勢に、今後の中小企業のあるべき姿を読み取ることができる。

（お問い合わせ）

ブヘサ 中村固腸堂

〒九二九-〇三三五

河北郡津幡町加賀爪ヌ五八一二

TEL

〇七六-二八八-三三二二

URL: <http://koeyoudo.com/>

（取材・執筆：県連合会）

経営支援課 西村 道博

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。